



第144回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第183回 I I D E S 糖尿病研究会
第118回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—

日 時 : 2020年2月22日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸国際会館 8F 802号室
神戸市中央区御幸通 8-1-6 TEL: 078-230-3196

プログラム :

14:00~14:15 アークレイマーケティング株式会社 ー情報提供ー

14:15~15:45 (座長: 鹿住 敏 甲南加古川病院 糖尿病外来、武庫川女子大学 栄養科学研究所
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

講演1. 『 糖尿病療養指導に活かせる臨床検査の知識について 』

宝塚市立病院 診療部 中央検査室 副主幹 中筋 幸司 先生

講演2. 『 クラウドシステムを用いた患者自身の気づきを促す
SMBG 指導法 』

あずま糖尿病内科クリニック 院長 東 大介 先生

15:45~17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演3. 『 HbA1c 測定のピットフォール 』

はくほう会セントラル病院 院長 古賀 正史 先生

(1) 参 加 費 : 2,000 円

(2) 申 込 方 法 : 事務局へご氏名、ご所属、職種を明記の上 FAX または E-mail にてお願い致します。

(3) 連絡事務局 : 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO - IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL: 078-591-7515 FAX: 078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 講演1: CC11・0.5単位、講演2: CC4・0.5単位、講演3: CC76・1.5単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位 申請中

※ 日病薬薬学認定制度 2単位 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

■CDEJ および CDEL の認定証が必要な方は、当日必ず受付にてお申し出下さい。

■CDEJ 認定証の必要な方は、CDEJ 認定番号をご準備して下さい。

■日医生涯教育認定証の必要な方は、医籍登録番号をご準備して下さい。

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
アークレイマーケティング株式会社

一 抄 録

講演1. 『糖尿病療養指導に活かせる臨床検査の知識について』

中筋 幸司 先生 宝塚市立病院 診療部 中央検査室 副主幹

糖尿病の治療目標は、中・長期的に血糖値をコントロールして合併症を予防することです。それらを確認・評価するためには、検査を実施することは大変重要です。多くの検査項目や基準値があり理解しにくいなどの声もありますが、療養指導には欠かせない検査ばかりです。今回は、糖尿病に関する主要な検査項目について検査の意義やポイントなどを紹介します。

講演2. 『クラウドシステムを用いた患者自身の気づきを促す SMBG 指導法』

東 大介 先生 あずま糖尿病内科クリニック 院長

昨今、CGM 等を用いて血糖変動を可視化する有用性が多数報告されている。しかし医療経済、継続性等を考慮すると SMBG を療養に活かすことは依然重要と考える。当院では血糖変動の評価のみならず患者さん自身に気づきにつなげることを目的に、食前血糖に加えて食後血糖も定期的に測定していただき、またクラウドシステムを用いて食事写真を確認している。当日は具体的な症例を挙げながら当院の取り組みと患者さんの変化を報告する。

講演3. 『HbA1c 測定のパットフォール』

古賀 正史 先生 はくほう会セントラル病院 院長

現在、HbA1c は糖尿病診療や健診で広く用いられている。しかし、HbA1c が正しく血糖を反映しない疾患あるいは病態が多数存在する。このことを念頭に置いて糖尿病診療を行わないと、医原性の低血糖や糖尿病合併症の発症・進展の促進をきたす恐れがある。今回の講演では健診での酵素法や免疫法を用いた HbA1c 測定の問題点、溶血性貧血や異常ヘモグロビン患者の診断や血糖コントロールの判断についての話題提供を行う。

◇会場案内図



- ◆ 三ノ宮駅 (JR) 三宮駅 (阪急・阪神・市営地下鉄山手線) 下車徒歩 10 分
- ◆ 三宮花時計前駅 (市営地下鉄海岸線) 下車 徒歩 5 分
- 神戸国際会館 会議室 802 号室 (神戸国際会館 1 F 奥の東エレベーターをご利用下さい。)